

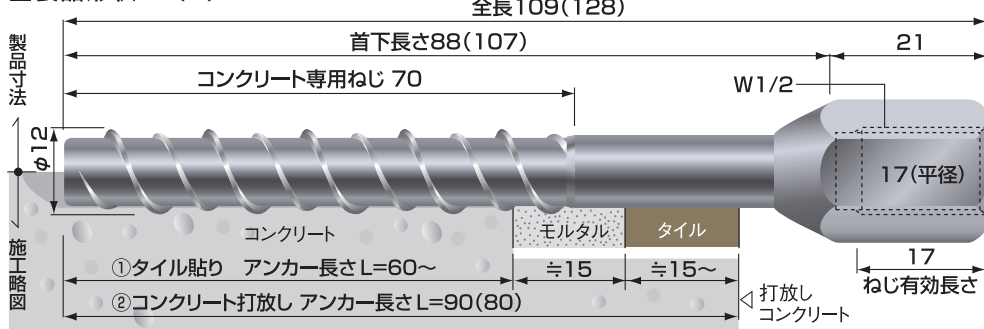
プレートアンカー 壁つなぎ金具のアンカーはRCTアンカー

あと施工タイプ RCT-88・RCT-107 PAT.

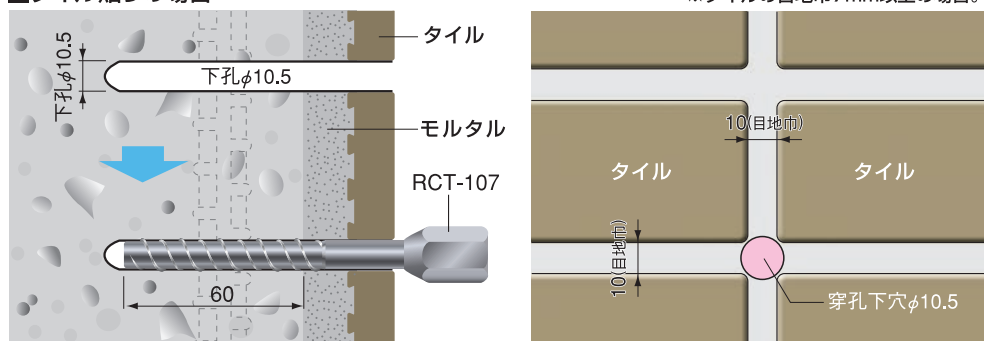
1 特長

- ① RCTアンカー 本体鋼棒のねじは、焼入れを施した高強度なコンクリート専用ねじです。
- ② このコンクリート専用ねじを電動ドリルにより回転させねじ込むと、コンクリート穿孔下穴 (φ10.5) に確実な切削ねじが形成されます。
- ③ この穿孔径 (φ10.5) は、従来型打込みアンカー (φ18) の面積が1/3と小さいが、約1.5倍の安定した引抜き力が得られます。
- ④ 穿孔径が小さく、構造物表面の・損傷が最小・施工音も小さく・作業性も速い。使用後、逆回転にて撤去、錆ダレの心配はまったくありません。

■製品形状 ※ ()はRCT-107



■タイル貼りの場合



4 施工手順

- 1 ドリルで下穴(穿孔)をあける
 - 2 下穴内の切り粉を除去
 - 3 取付け:ドリルでねじ込む
取外し:ゆっくり逆回転させ撤去
 - 4 作業後はアンカーを撤去し
下穴を防水処理
- 参考ドライバー
コードレスインパクトドライバー

2 設計強度

項目	根入長(mm)		最大荷重(Pu) <kgf/本>	許容荷重(Pa) <kgf/本>
①タイル貼り	60	引張強度	1,500	750
		圧縮強度	1,000	500
②コンクリート打放し	90	引張強度	3,000	1,500
		圧縮強度	1,000	500

引抜き試験: (財) 建材試験センター中国試験所 / ●コンクリート強度 $\sigma_{ck}=300\text{kgf/cm}^2$ <単位: mm>

3 規格

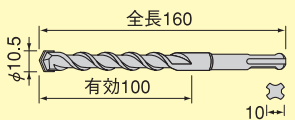
呼び名(規格)	全長(L)	ドリル径	ねじ込深さ	穿孔深さ	適応壁厚	梱包入数
RCT-88	108	φ10.5	80	90	150以上	50個/箱
RCT-107	128		90	100		

材質 SWCH18A(熱処理HV480)

(※製品寸法を予告なしに変更することがあります。)

回転数	0~2,400min ⁻¹
打撃数	0~3,000min ⁻¹
電圧	14.4V(推奨)

■参考ドリルビット



品名	形名
コンクリート用ドリルビット(ユニカ製)	SDS 10.5×160

●製造元



本社 〒818-0105 太宰府市都府楼南5-16-13
TEL (092)925-8161 FAX (092)925-3449
URL <http://www.zen-g.co.jp/>

東京営業所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-601
TEL (03)5352-6185 FAX (03)5352-6810

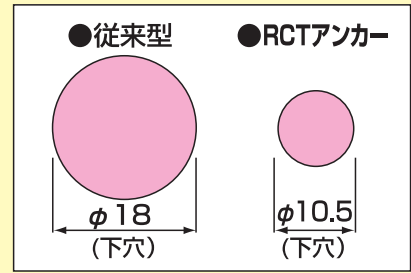
●代理店

ご存じですか!?

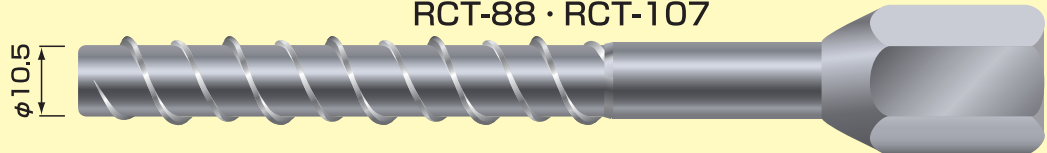
壁つなぎのアンカーは目には見えませんが
大変重要な個所です。

RCTアンカー は、構造物を
傷めないことを最重要と考えました。

図1 下穴(穿孔)の比較



RCT-88・RCT-107



従来型 打込み式アンカーの
■欠点を改良すると

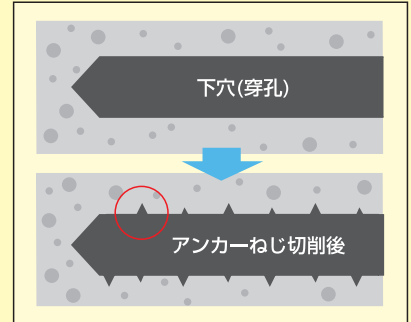
- ① 構造物を(最小穴で)傷めない
- ② 錆ダレが生じない
- ③ タイルの目地部^{*}を利用するのでタイルを傷めず補修も簡単
- ④ 下穴(穿孔)に切削ねじが形成(図2参照)され安定した引抜き力が得られる

写真1 タイル目地部にアンカーをねじ込む



*タイルの目地前 7mm以上の場合

図2 下穴(穿孔)に切削ねじが形成



従来型の打込み式アンカーは、構造物をこんなに傷めています。

■従来型の欠点

- ① 構造物を傷めている
- ② 錆ダレが生じる
- ③ タイルの補修が必要

従来型の打込み式アンカー

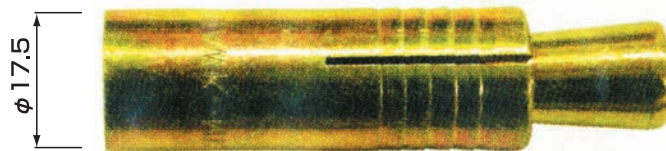


写真2 打込み周辺のコンクリートの破損



写真3 錆ダレが生じる

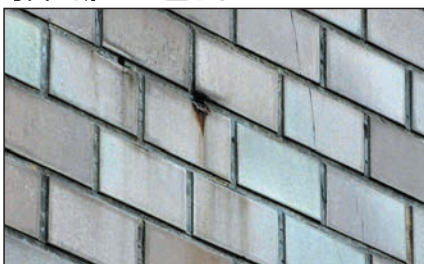


写真4 タイルの補修が必要



写真5 タイルの補修が必要



写真6 取付け比較



従来型の場合
傷穴が大きい



RCT-107型の場合
傷が小さい